



年 組 名前

道新ワークシート

被団協に平和賞

ノーベル賞

核なき世界へ努力評価

【オスロ共同】ノルウェーのノーベル賞委員会は11日、2024年のノーベル平和賞を日本全国の被爆者らでつくる日本原水爆被害者団体協議会（被団協、東京）に授与すると発表した。「核兵器のない世界の実現に向けた努力」を評価した。今年で結成68年を迎え、被爆の実相を世界に訴え続け、核廃絶の運動を長年リードしてきた。日本の個人や団体への平和賞は、非核三原則の表明で1974年に受賞した佐藤栄作元首相以来で50年ぶり2例目。

- 被団協は核兵器のない世界の表現に向け努力
- 核兵器が二度と使われてはならないことを証言を通じて示した
- 被爆者の証言は世界で幅広い核兵器反対運動を生み出した
- 現代の核兵器は文明を破壊しかねない
- 平和に取り組んできた全ての被爆者に敬意

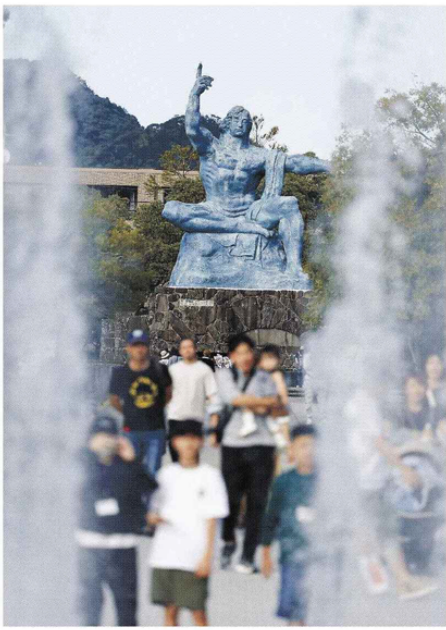
平和賞授賞理由由骨子
ノーベル賞委員会は被団協について「核兵器が二度と使用されてはならないことを証言を通じて示した。並外れた努力は核のタブーの確立に大きく貢献した」とたたえた。国連や平和会議に代表団を派遣し続け「核軍縮の差し迫った必要性を世界に訴えてきた」と指摘。「肉体的苦しみやつらい記憶を、平和への希望を育むことに生かした全ての被爆者に敬意を表した」とした。

今回の授与はロシアのウクライナ侵攻や北朝鮮の核・ミサイル開発で核の脅威が増す中、核なき世界に向けた機運を高め

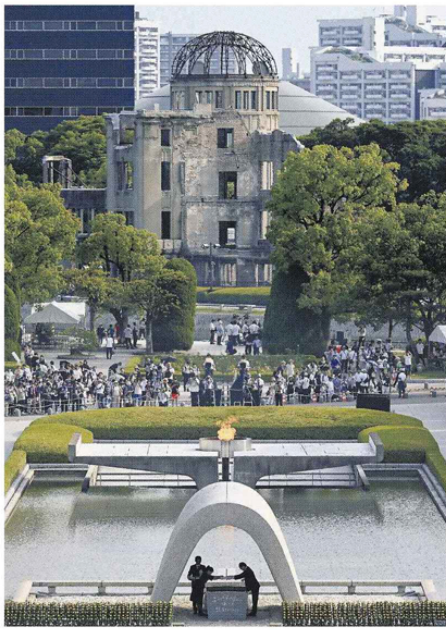
る狙いがある。2017年に非政府組織（NGO）「核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）」にも平和賞を授与しており、核廃絶の運動を改めて後押しした。

被団協代表委員、田中照巳さん(92)は「世界の核兵器の状況に危機感を持つ人が増えたからじゃないかと語った。広島や長崎など各地の被爆者も喜びの声を上げた。被団協は1956年に結成された。被爆体験の伝承を先導し、後遺症に苦しむ被爆者の救済に取り組んできた。核拡散防止条約（NPT）再検討会議などの国際会議にも代表団を派遣。核の脅威を生きた証人として訴える被爆者の言葉は重く受け止められている。フリードネス・ノーベル賞委員長は取材に対し「核兵器が80年近く使われていないのは、彼らの貢献のおかげでもある」と述べ、被団協の活動に謝意を示した。授賞式は

12月10日にオスロで行われ、賞金1100万スウェーデン圜（約1億5千万円）が贈られる。活動認知された 広島市長 日本原水爆被害者団体協議会（被団協）のノーベル平和賞受賞決定を受け、広島市の松井一実市長は11日、報道陣の取材に「人類の悲劇を次世代につなぐ活動が認知された。多くの方々にヒロシマの心を知ってもらおう契機になる」と述べた。努力が実った 長崎市長 日本原水爆被害者団体協議会（被団協）へのノーベル平和賞授与決定を受け、長崎市の鈴木史朗市長は11日、市役所で取材に応じ「被爆者の方は高齢の体にむちを打って海外の場に出向き、声を振り絞って核廃絶を訴えてきた。その努力が実ったことをうれしく思う」と歓迎した。



長崎市の平和祈念像
＝11日午後3時43分



8月6日、広島市の平和記念公園で開催された平和記念式典

日本原水爆被害者団体協議会（被団協） 米国による1954年の太平洋・ビキニ環礁水爆実験をきっかけに、56年8月に長崎市で開かれた第2回原水爆禁止世界大会の中で結成された被爆者の全国組織。「ふたたび被爆者をつくるな」を合言葉に、核兵器廃絶と原爆被害への国家補償を訴えてきた。国内外で証言活動を続け、被爆者の健康問題の相談事業も行っている。高齢化で地方組織が次々と休止、解散。会費や寄付金で活動費を賄ってきたが、財政難に苦しんでいる。



年 組 名前

道新で ワークシート

- ① ノーベル賞委員会は、どのようなことを評価して、日本原水爆被害者団体協議会（被団協）に平和賞を授与したのか、記事から読み取りましょう。
- ② 今回の被団協への平和賞授与は、ノーベル賞委員会のどのような狙いによるものと考えられますか。記事から読み取りましょう。
- ③ 世界唯一の被爆国である日本で暮らしている一人の人間として、自分にできることは何かを、考えましょう。